

～スワルスキープラスUM（スワルスキー）を用いた 温室メロンの害虫防除（例）～

2025/2/10

×合ピレ、有機リン、カーバメート剤は不可

天敵導入前（育苗期含む）にマラソン、ダイアジノン、アディオン、アーデント、アグロスリン、ロディーなどを使った場合、放飼しないで下さい。

◎スワルスキーはアザミウマやコナジラミの成虫を食べられないので、粘着トラップ（ホリバー）を併用してください。

△グレーシア乳剤等のカブリダニ類に対して影響が長い薬剤は、使用しないでください。

◎定植後14日～21日が導入適期です。なるべく早めに放飼してください。

モベントフロアブルとの併用例

は種後
日 数

	散布時期	設置資材		発生病害虫名	薬剤名	備 考
0日	圃場準備					
30日	育苗期		放飼 2週間 以上前	アザミウマ、コナジラミ類	スピノエース顆粒水溶剤 5000倍（※）	（※）スワルスキーに強い影響があるため、 放飼後は使わないでください。
				アザミウマ類、コナジラミ類、 ウリノメイガ、ハモグリバエ類	ディアナSC 2500～5000倍（※）	
				うどんこ病	モレスタン水和剤 4000倍 または バルミノフロアブル 2000倍（※）	
	定植前			アザミウマ類、コナジラミ類、 ハダニ類、アブラムシ類	モベントフロアブル 500倍/50ml/株 灌注処理	
45日				粘着トラップ（ホリバーブ ルー、ホリバーイエロー）の 設置	アザミウマ成虫はハウス内の土中に潜んでいて、定植すると一機に定植したばかりの 苗に飛びついてきます。そこで、メロンを定植する前に粘着トラップを定植前の地面 に設置して、アザミウマ成虫を捕獲します。	この時期に 粘着板を設置 → 
			定植当日 または 1日後	うどんこ病（必須防除）	モレスタン水和剤 4000倍 または バルミノフロアブル 2000倍（※） かん水後の葉がシャキッとした後に散布してください。（薬害の懸念あり）	
			放飼 2週間前	コナジラミ類・アブラムシ類	コルト顆粒水和剤 4000倍	
			放飼 1週間前	アザミウマ類、コナジラミ類、ハ ダニ類	アグリメック 500～1000倍（※※）	（※※）スワルスキーに影響があるため、 放飼1週間前までに散布
				アザミウマ類、コナジラミ類、ウ リノメイガ、ハモグリバエ類	アフーム乳剤 2000倍（※※） アザミウマ類は1000～2000倍	
50日			放飼3日 以上前	うどんこ病	イオウフロアブル 500～1000倍 3日以上空ける	
			放飼日	スワルスキープラスUM 1袋（100パック）を1温室に設置（葉陰に設置） （またはスワルスキー 250ml × 1本） 		
			放飼後 1週間		※ 放飼後1週間は薬剤散布、整枝をし ないでください。 産まれたばかりのスワルスキーの卵や 幼虫が多いからです。	
60日				うどんこ病	シオウチノスケフロアブル 2000倍 または バチスター水和剤 1000倍（子 1000倍）	（※）スワルスキー導入中のアザミウマ防除は影響の少ない 薬剤でアザミウマの飛び込み、発生に応じて実施
				ハダニ類	ダニサラバフロアブル 1000倍	
				つる枯病	アフエットフロアブル 2000倍	
				オオタバコガ、ハモグリバエ類	プレバソソフロアブル 2000倍	
				アザミウマ類（ミナミイロアザミウマ）	ブレオフロアブル 1000倍（※）（ボタニガード水和剤 1000倍と併用）	ボタニガード水和剤 1000倍（子メロン 1000倍）併用散布
70日				うどんこ病	バチスター水和剤 1000倍（子メロン 1000倍）	
				コナジラミ類・アブラムシ類	ウララDF 2000倍	
				ウリノメイガ	マトリックフロアブル 2000倍	
80日				うどんこ病	バチスター水和剤 1000倍（子メロン 1000倍）	
				アザミウマ類・コナジラミ類	アルバリ/スタール顆粒水和剤 2000倍（※） （ボタニガード水和剤 1000倍と併用）	ボタニガード水和剤 1000倍（子メロン 1000倍）併用散布
				ハダニ類	スターマイトフロアブル 2000倍	
				陥没病	トップジンM水和剤 1500倍 注）葉表と果実を中心に散布してください。	
				うどんこ病	アミスター20フロアブル 3000倍 または バチスター水和剤 1000倍（子 1000倍）	
90日				アザミウマ類・コナジラミ類	アルバリ/スタール顆粒水和剤 2000倍（※） （ボタニガード水和剤 1000倍と併用）	ボタニガード水和剤 1000倍（子メロン 1000倍）併用散布
				つる枯病	トップジンM水和剤 1500倍 注）葉表と果実を中心に散布してください。	
				べと病	ダコニール1000 1000倍	
				うどんこ病	ストロビーフロアブル 4000倍 または バチスター水和剤 1000倍（子メロン 1000倍）	
				アザミウマ類	ダントツ水溶剤 2000～4000倍 アクタラ顆粒水溶剤 2000倍 モスピラン顆粒水溶剤 8000倍（子メロン 2000～4000倍）	
90日	交配40日			アザミウマ類	アフーム乳剤 1000～2000倍	スワルスキーに強い影響があるため、 収穫前の切り札としてご利用ください。 使わないほうが次作のアザミウマが少ないようです。

～スワルスキー＆スワルスキープラスUMの導入のポイント～

- ◆ まず最初に定植前に粘着板を設置してアザミウマ成虫を捕まえましょう！
- ◆ 温室外からのアザミウマ成虫の飛び込みによる被害を軽減するためにホリバーを併用しましょう！
- ◆ 摘葉した葉や脇芽は、しおれるまで3日くらい株元に放置してください。
- ◆ 定植2週間後が放飼適期。遅くても交配前までには放飼してください。
- ◆ アザミウマが増える心配がなければ、雄花は3つくらい残しておくとしワルスキーが増えやすい。
- ◆ 交配前もしくは交配後にアザミウマ対策として、スワルスキーに影響が少ない薬
剤を散布してください。（影響表を参照）
- ◆ 秋口にスワルスキーを使用すると働きが悪い時があります。
午前中に通路やベッド下に軽く水をまいておけば大丈夫です。

